

東北医科薬科大学

薬学部薬学科における地域支援制度の概要

東北医科薬科大学薬学部薬学科では、宮城県内および秋田県内における薬剤師不足解消に貢献するため、令和7年度入学者選抜から新たに地域支援制度（宮城県／秋田県）を設けます。

1. 地域支援制度導入（宮城県／秋田県）の背景と目的

宮城県内および秋田県内における人口10万人あたりの薬剤師数は、全国平均を下回っております。特に医療機関に勤務する病院薬剤師は顕著に不足しています。

本学の教育理念として「専門的な知識と能力を兼ね備えた、社会に貢献できる人材を育成する」ことを掲げていることから、自治体や関係団体等と密接に連携しながら、東北地方の地域医療において薬剤師が専門性を発揮する環境を整備し、薬剤師不足が深刻な医療機関に薬剤師が定着する仕組みの構築を目指していくこととしています。

このことから、地域の持続的な医療基盤の充実を支える薬剤師の輩出・確保を目的とし、令和7年度から薬学部薬学科において、地域支援制度（宮城県／秋田県）を創設することといたしました。

本地域支援制度は、地域医療を支える薬剤師の養成を目的として、対象の学生に修学資金を貸与し大学卒業後に指定する宮城県内または秋田県内の医療機関に薬剤師として一定期間従事することで、**貸与金額（720万円）の全額を返還免除とする制度**です。

※他団体奨学金の中には、本学の修学資金との重複を認めないものもありますので、入学を希望する場合は、各団体へ事前にご確認ください。

※制度の詳細については、本学ホームページなどで公表します。

2. 対象学科および募集人員

対象学科：薬学部薬学科

募集人員（予定）：宮城県4名、秋田県2名

3. 出願資格

次の1)～2)の条件をすべて満たす者

- 1) 一般選抜（前期）を受験する者
- 2) 大学卒業後は大学等が指定する宮城県内または秋田県内の医療機関に薬剤師として就職を志す者（所定の様式で誓約書を提出）

4. 採用者決定について

地域支援制度希望者は仙台試験場で一般選抜（前期）の学科試験を受験した後に面接を実施します。

期 日：令和7年1月25日（土）

面接会場：東北医科薬科大学 小松島キャンパス

採用者決定方法：一般選抜（前期）合格者の中から、調査書、面接などにより総合的に採用者を決定します。

発表日：令和7年1月31日（金）

欠員が生じた場合、希望者のうち納付金納入者の中から繰上げ採用者として連絡します。

※一般選抜（前期）合格者の判定に地域支援制度希望の有無は影響しません。

※宮城県、秋田県の両県を希望する場合は、希望順位をつけてください。

5. 貸与金額および返還免除（必要従事期間） ※予定

貸与金額：1～6年次 10万円/月×12か月（6年間総額720万円）

必要従事期間：宮城県 薬剤師免許を取得し、指定する宮城県内の医療機関に薬剤師として**貸与期間の1.5倍（9年間）**従事する。

秋田県 卒業後2年以内に薬剤師免許を取得し、指定する秋田県内の医療機関に薬剤師として**6年間**従事する。

※卒業後2年以内に薬剤師免許を取得するためには、卒業年度または翌年度の薬剤師国家試験に合格する必要があります。